



2022年5月16日

各 位

会社名 セントケア・ホールディング株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤間和敏
(コード：2374 東証プライム)
問合せ先 常務取締役管理本部長 瀧井 創
(TEL. 03-3538-2943)

中期経営計画の業績目標一部修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画における業績目標のうち、一部を修正することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績目標の修正内容

(単位：百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	目標	実績	目標 (修正前)	目標 (修正後)	目標 (修正前)	目標 (修正後)
売上高	49,000	48,876	53,000	53,000	56,700	56,700
営業利益	3,100	2,865	3,500	3,200	3,850	3,850
経常利益	3,023	2,817	3,400	3,140	3,750	3,750
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,938	1,836	2,180	2,008	2,400	2,400
ROE	14.5%	14.3%	15.0%	14.0%	15.5%	15.0%
ROA	7.0%	6.9%	8.0%	7.1%	8.5%	8.0%
ROIC	13.0%	12.5%	14.0%	12.7%	15.0%	14.0%

2. 修正の理由

当社グループは、社会インフラ企業としていかなる外部環境の変化に対しても質の高いサービスを提供し続けるために、健全な事業成長と盤石な経営基盤を維持し、持続可能な社会の実現に資する取り組みを推進してまいります。その実現に向け、①「事業戦略／品質戦略（健全な事業成長とサービス品質、次世代介護の追求）」②「サステナビリティ経営（社会の要請に応じた責務の全う）」③「組織・人材育成（誇りをもって生き活きと働ける組織と人材の育成）」を中期経営計画の重要課題として取り組んでおります。

2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が前期水準を上回らないことを前提に計画を策定しましたが、実際には感染拡大が長期化しており、当社グループもその影響を依然として大きく受ける期となりました。総じて施設系サービスは利用控え等の影響を受けたものの、訪問系サービスが需要増により収益貢献しました。第1四半期連結会計期間（4-6月）は感染症第4波のなか、感染症予防・感染拡大防止対策のもと堅調に業績を伸ばしました。第2四半期連結会計期間（7-9月）は国内新規感染者数が過去の3倍程度と爆発的な感染となった第5波の影響を色濃く受け、当社グループでも相談件数や陽性者数が増加するなど第1四半期からの鈍化を余儀なくされ、前年同期比で増収減益となったものの、第3四半期連結会計期間（10-12月）では国内新規感染者数が急速に減少したこともあり、訪問系サービスを中心に集客が進み、施設系サービスのデイサービスでも回復基調になるなど、再び業績を伸ばしました。第3四半期連結累計期間（4-12月）でも前年同期に対して増収増益で推移し、利益面では概ね計画どおりの進捗となりました。第4四半期連結会計期間（1-3月）は国内新規感染者数が1日で10万人を越すなど高い水準で感染拡大が続いている第6波の影響を受け、当社グループでも相談件数や陽性者数が増加するなど、第5波を上回る厳しい外部環境から再び集客が鈍化しました。一方で、感染症対策の一定の成果もあり前年同期比では増収増益で推移しました。また、通期を通して、感染症の感染拡大下のなかでの社会インフラとしての役割を果たすべく、従業員に対して特別勤務手当や休業補償、見舞金の支給など、サービス提供を継続するための環境整備を積極的に実施したことで人件費が増加したことも一時的に利益を押し下げる要因となりました。

2023年3月期は、依然として新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念など予断を許さないものの、感染症の影響はワクチン接種の進展等により徐々に収束することを前提としております。一方で、足下ではウクライナ情勢等による経済への影響も懸念され、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。このような事業環境のなか、当社グループが提供する介護サービス事業は、社会インフラの役割と超高齢社会を背景に引き続き需要の増加を見込んでいることから、売上高は当初目標を据え置いております。感染症の影響は回復基調を見込みながらも、足元の経済情勢等を踏まえ、主に費用面において一定程度の影響は生じるものとして業績目標を堅実な計画に修正することとしました。

なお、最終年度の2024年3月期については、通常に近い経済状況に回復していることを前提に数値計画を据え置いております。今後、事業環境に変化が生じた際には適時に数値計画を見直してまいります。

（注）上記の目標数値等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績等は、多様なリスクや不確定要素の影響を受け、結果は将来の展望と著しく異なる可能性があります。

以上